

由良川水系流域治水プロジェクト

グリーンインフラ＜個別事例＞

令和4年 3月23日

- 上林川を美しくする会が実施する「ヨシ刈り作業」は、上林川の景観保全に繋げるとともに、水域浄化を図ることを目的としており、会の会員だけでなく、地元住民等とともに実施している。
- 令和2年度は3回のヨシ刈りを実施。142名が参加し作業を行った。
- 本会が取り組んできたことの功績が称えられ、平成23年度に「水・土壌環境保全活動功労者表彰(環境省水・大気環境局長表彰)」平成27年度に「市制施行65周年記念特別表彰」平成29年度には「河川功労者表彰」を受賞している。

【奥上林地区(故屋岡町前川橋付近)】



【中上林地区(八津合町大手橋付近)】



【口上林地区(十倉向町加茂橋付近)】



自然環境が有する多様な機能活動の取組<地元住民による由良川などの清掃活動>

宮津市、由良自治連合会

- 由良川河口部に位置する宮津市由良地区の由良自治連合会では、毎年、由良川沿岸の清掃に取り組んでいる。
- 令和3年度は、河川清掃に約20名の地元住民が参加して、約100kgの河川のごみを回収した。
- この他、由良海岸にも多くのごみ(海からの漂着ごみや由良川からの流下ごみなど)が漂着・散乱するため、地元自治会等が定期的に清掃活動を実施しており、令和3年度は、約130名が参加し、約1トン近くのごみを回収した。
- 宮津市もこうした取組みを支援するため、ゴミ袋の提供や集められたごみの収集・処分などを行っている。



【由良海岸の漂着ごみ】

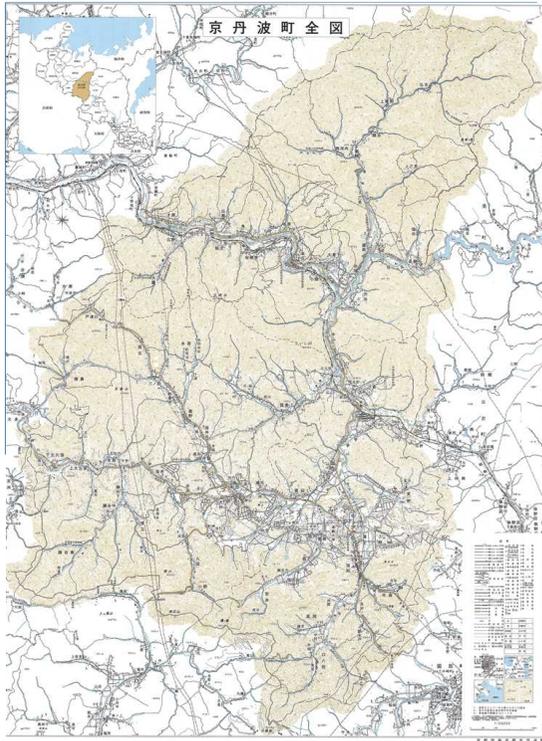


【由良川清掃の様子】

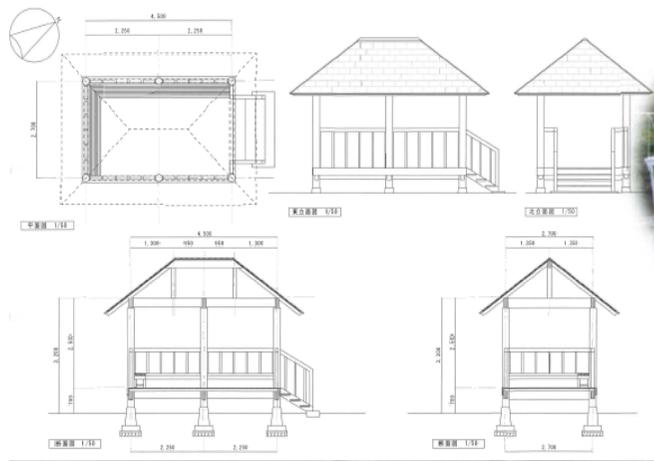


- 京丹波町では、道の駅が中心となって組織された地元の観光協議会によって河岸段丘を望む展望施設の設置が行われており、令和3年度末を目途に完成する予定となっている。また、そこから望める由良川及び河岸段丘の景観維持について、地元によって草刈り等の整備がされたり、特徴である鮎を模した鮎のぼりなどの飾り付けを行うことで、景観形成を図っている。

【位置図】

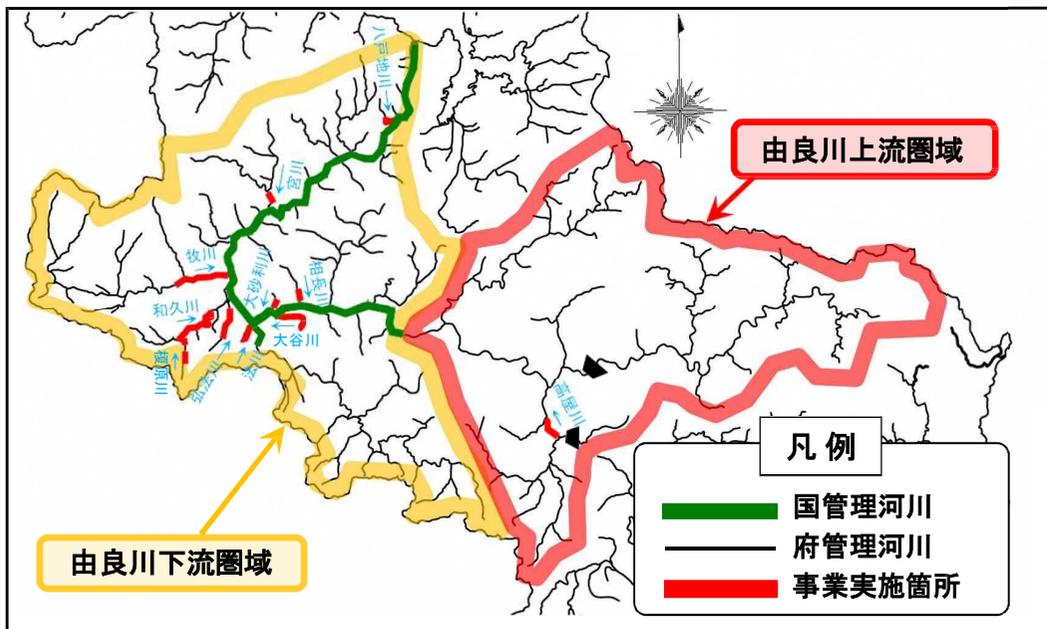


【航空写真】

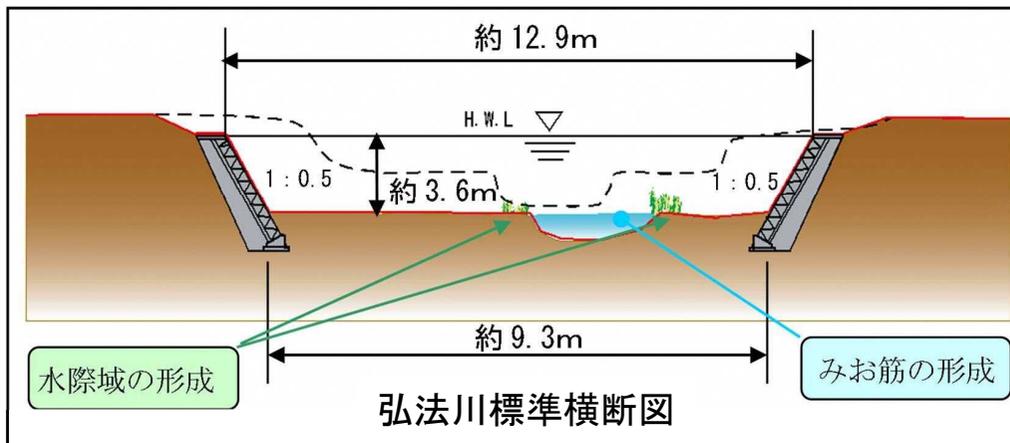


- 由良川流域では、平成16年台風23号や平成26年8月豪雨などにより甚大な被害が発生したため、民家浸水被害状況や直轄事業との連携などを勘案し、平成16年台風23号と同規模の洪水を安全に流下させることを目指し、河川改修を実施している。
- 河川改修の実施に当たっては、現況河道内の河原や植生を極力保全し、河道内にみお筋を確保することで自然の営みによって瀬・淵が形成されることを促し、生物の生息・生育・繁殖環境の保全に配慮して進めている。

【位置図】



【河川改修計画横断面図】



【緑化の状況】



【河川改修状況】



- 由良川流域における水源林造成事業地は、約250箇所（森林面積 約6,600ha）であり、水源林造成事業の実施主体となる造林者（地域の森林組合や林業事業体等）と共に、更なる森林の有する公益的機能の高度発揮を図るため、令和3年度においては、約700haの森林整備を予定、間伐事業においては災害防止の観点から間伐材等を林外へ積極的に搬出、販売し有効利用を図っている。
- また、水源かん養や土砂の流出防止など森林の有する公益的機能を持続的かつ高度に発揮させるため、新植時の針広混交林への造成また群状又は帯状の育成複層林誘導伐の実施により、複数の樹冠層を有する育成複層林の造成を積極的に推進している。



由良川流域内における水源林造成事業地の森林整備状況

(令和3年11月22日現在)

施業 市町村名	新植	育成複層林	保育事業	保育事業のうち間伐事業
福知山市	7		89	14
舞鶴市			3	
綾部市			111	
宮津市			18	
南丹市	15	20	256	108
京丹波町	5		179	80
計	27	20	656	202



針広混交林（京丹波町）



育成複層林（南丹市）



魅力ある水辺空間・賑わい創出＜松並木・桜並木の再生＞

- 綾部市並松地区は、河川整備計画において堤防整備が位置づけられてる。また、当該地区は、風光明媚な場所であることから、堤防整備にあたり、学識者や地元等により構成した堤防景観検討会を設置し、整備方針を検討してきた。
- 検討会では、地区名の由来である松並木と現状の景観を構成している桜並木を再生することで、整備方針を決定。

